

介護相談員の活動状況

訪問先施設	提供サービスの種類	訪問回数	
		17年度上半期	17年度下半期
高浜安立荘	介護福祉施設サービス（特養）ほか2種	14回	13回
こもれびの里・高浜	介護保健施設サービス（老健）ほか2種	13回	12回
ひだまりの家	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	12回	12回
葭池デイ	通所介護（デイサービス）	13回	13回
養護デイ	通所介護（デイサービス）	14回	12回
南部デイ	通所介護（デイサービス）	13回	13回
高浜ケアハウス	特定施設入所者生活介護（ケアハウス）	14回	12回
あうん	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	14回	12回
いこいの宿	短期入所生活介護事業（ショートステイ）	10回	12回
ふあんふあんらんど	通所介護（デイサービス）	0回	10回
在宅サービス利用者		56回	57回
合計		173回	178回

相談・意見などの事例とその対応など

	相談などの事例	施設や事業者の対応など
事例1	お茶が欲しいと言われたので、出していたが、出した職員は無言のまま一言の声をかけをすることなく、利用者の「ありがとう」の言葉にも反応が見られなかった。職員の対応について改善を伝えました。	介護のプロとして恥ずべき行為で、指摘事項は職員に周知し、今後、利用者の方々が不快な思いをされないよう、改善するとの回答を得ました。
事例2	ご飯を炊飯器から茶碗にしゃもじを使って移す時、しゃもじに付着したご飯を茶碗にこすって差し出す人がいる。職員の対応について改善を伝えました。	今後は、茶碗によそうときはしゃもじをぬらす、しゃもじについたご飯をとる時はスプーンなどでとる、ということ徹底する。また、マナーについて情報交換し、利用者の方が不快な思いにならないよう、注意していくとの回答を得ました。
事例3	バリアフリー構造のため、各居室の出入口のドアが鴨居からの吊レールとなっているが、レール止めの木ネジの効きが悪く、レールが緩む。また、ドアが重く閉まりにくい。1箇所だけではない。建てつけも悪く、隙間風が入ってくる。改善を検討できないか伝えました。	ドアの修理は完了。今後、設備の点検は定期的に行い、修理が必要な場所があれば早急に対応して、入居者の方に安心して快適に暮らしていただけるよう、努力していくとのことでした。
事例4	室温が寒く感じられ、寒暖計では15℃だった。他施設に比べて利用者の方は厚着で、全員ぎざかけをしていることから、適切な室温管理に気を配るよう、改善できないか伝えました。	利用者の状態にあわせて室温調節をこまめに調整し、特に夏場・冬場には気をつける、との回答を得ました。

相談・意見などのうち、気づいた点を訪問先の施設や事業者に伝えた件数

	件数	
	17年度上半期	17年度下半期
職員の接遇、見守り	18件 (36.7%)	15件 (28.9%)
利用料、要介護認定	0件 (0.0%)	1件 (1.9%)
食事	4件 (8.2%)	3件 (5.8%)
入浴、整容	1件 (2.0%)	8件 (15.4%)
排せつ	1件 (2.0%)	0件 (0.0%)
移動	0件 (0.0%)	0件 (0.0%)
コミュニケーション	2件 (4.1%)	0件 (0.0%)
レクリエーション、リハビリ	2件 (4.1%)	2件 (3.8%)
施設整備・生活環境	9件 (18.4%)	10件 (19.2%)
その他	12件 (24.5%)	13件 (25.0%)
	49件 (100.0%)	52件 (100.0%)

平成17年度
介護相談員
活動状況を
お知らせします

介護保険制度においては、これまでの行政の措置とは異なり、サービスの「担い手」と「受けて」が対等の立場になりました。市では、平成12年10月から介護

相談員制度を導入し、現在の、7人の介護相談員が介護サービス提供の場を訪ね、サービス利用者や家族の話を聞き、相談に応じる一方、不平・不満や疑問に気づき、利用者や事業者の橋渡しをしながら、問題の改善や介護サービスの質的向上に向けた活動をしています。

問合せ先
いきいき広場内介護保険グループ
☎ 52-9871

介護相談員の紹介（現任）
（敬称略）



角谷式男相談員



和田邦子相談員



神谷六朗相談員



宇井一夫相談員



吉田ミツ相談員



杉浦さがみ相談員



佐久間啓子相談員